

「学び合い 高め合い 認め合い 夢と希望を育む小鹿野小学校」

# 学校だより

学校教育目標 ○仲良く力を合わせる子 ○明るく元気な子 ○進んで学習する子  
小鹿野町立小鹿野小学校 第6号 平成29年9月1日発行

## 2学期に向けて(お礼とお願い)

校長 矢 鳥 泰

42日間の夏休みが終わりました。夏休みのはじめには、補充学習会や水泳、高学年は二者面談と休業中にもかかわらず、保護者の皆様にはご理解とご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

また、この休業中、子どもたちの大きな事故やけが、体調不良についての連絡が無く全員が無事に過ごすことができ、9月1日の始業式に全校児童が元気にたくましい姿で登校できたのは休業期間中の保護者の皆様のご支援の賜と重ねてお礼申し上げます。

さて、子どもたちはこの夏休み中の時間を十分有効活用し、自身の成長に役立たせることができたでしょうか。

2学期は、残暑の厳しさに加え、運動会や各学年の大きな行事、学習も学年の中心になる内容が増えてきます。厳しい環境の中、これらの学習活動を充実させていくために、まず、夏休み中の生活習慣を振り返ることが大切だと思います。一人一人が生活リズムを回復させ、規則正しい生活を確立して2学期の学習活動に向かっていってほしいと思います。

そのためには、次のような項目に視点をあて点検をしてみてください。

☆はじめのある生活ができる。

(時刻を守る。身の回りの整理整頓をする。)

☆礼儀正しく人と接することができる。

(進んであいさつや返事をする。ていねいな言葉づかいで話す。)

\*特に7月はすばらしい朝のあいさつでした。続けていきましょう。

☆約束やきまりを守ることができる。

この3項目が一人一人の学校生活を充実させることや個性や能力を伸ばし、社会性を育むことにつながっていきます。

以前にも学校だよりで書かせていただきましたが、一人一人の子どもの豊かな人間形成にあたっては、家庭と学校とがそれぞれの教育的役割をよく認識して、連携・協力を継続することが大切です。基本的な生活習慣(基本的なしつけ)は子どもだけの力では子どもは獲得できません。

さらに、がまんすることや安定した心や情緒をもたせるには、家庭での教育が大きな力をもっています。保護者の皆様と教師、ご家庭と学校とが、そのことを十分理解して共に進んでいきましょう。

「今がこの子(一人一人)の旬です。」

よろしくお願いたします。